

令和5年12月25日付【水道産業新聞】
 ステン水槽耐震など3講演
 <中国・四国支部 会場と配信で技術講習会>



岩田副支部長

全国上下水道コンサルタント協会中国・四国支部はさきごろ、技術講習会を広島市内の会場とオンライン配信併用で開催

ステン水槽耐震など3講演

協会 中国・四国支部 会場と配信で技術講習会



谷口課長

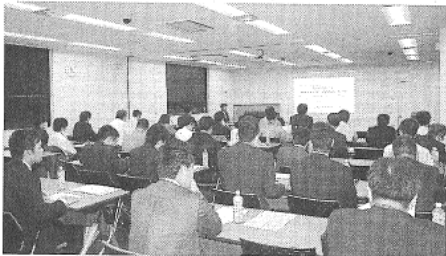


梶田課長



林氏

した。今回は日本ステンレスタンク工業会などによる3題の講演が行われた。冒頭、岩田直樹・同支部副支部長（中電技術コンサルタント）が「コロナ禍を経て4年ぶりの開催だが、合計で過去最高の約120人の参加を得た。今回の知見を日頃の業務に活用や社内共有を」とあいさつ。



梶田幸弘・西島製作所 公共統括課長の講演一コマ

続いて、日本ステンレスタンク工業会事務局の林健太郎氏が「ステンレス鋼製矩形水槽の水道施設耐震工法指針改定に伴う説明会」と題して講演。ステンレス鋼の特徴や構造形式別の設計対応フローなどを紹介し、ステンレス鋼板製パネル特性に関する実験で、側板中央部の動水圧や側板各点の最大動水圧を測定し、実測値と固有値・時刻歴応答解析の比較などを行い、解析諸元などを解説した。

過去最高の120人が参加した技術講習会
 承継し、今年4月から事業開始しており、効率的な財政運営や施設最適化、技術力向上などに取り組んでおり、「水道企業団の設立は持続可能な水道事業を実現する手段として有効で、成果が得られるよう着実に推進」とまとめた。

谷口淳・広島県水道広域連合企業団企画課長は、水道企業団の設立経緯や経営見通しなどを説明。広島県の水道用水供給事業・工業用水道事業と、14市町の水道事業を

「浸水による減災・防災」では、浸水しても機能に支障がない耐水モーター一体型ポンプや、ポンプ本体による吸水槽内の渦を抑制する技術などを説明。全国での納入事例や有用性など紹介しながら、気候変動による降雨量や洪水被害の増加を踏まえた災害対策の必要性などを強調した。